

沢登り 奥秩父：笛吹川東沢 鶏冠谷右俣

- ◆日程 2019年8月31日(土)~9月1日(日)
- ◆メンバー L：林、須田、佐藤俊
- ◆天候 晴れ

早朝 5:00、5:30 と須田、佐藤をそれぞれ自宅近くでピックアップして貰い東名高速に乗った、渋滞が始まる前の比較的スムーズな移動で中央自動車道を行き勝沼インターで降りた、道の駅みとみの先にある西沢溪谷入口の駐車場に車を止めた、この時点で8:00 丁度、予想より早く到着できた。薄雲りの良い天候、少し肌寒い。

沢での幕営のため装備は重め、ザックは日帰りの時より2倍近い重量となっていた、入溪までの道のりは登山道を行くため楽だった、鶏冠谷の出合で沢装備を付け出発、すぐに10mほどの滝が現れる、魚止めの滝だ、水量も多い、少し考えて巻くことにした、登れないこともないがずぶぬれ必至だった。

ここからナメ&スラブの連続だ、簡単なナメ小滝を何回か超えたあと、スラブ状の大きく斜めに流れる滝が出た、逆くの字滝、傾斜は緩いが水流が多く速い、足を取られたら押し流されそうな雰囲気だ、ここでロープを出し林さんが先行で行った、うまく濡れていない岩の上を行き上部からビレイしてもらった、またナメと小滝の連続、昼近くなると気温は高くなり、大汗をかきながら遡行する、開けた明るい沢の水がきもちいい。

左俣との分岐を確認して右俣に入る、すぐに24m滝に阻まれ後退、右から大きく巻いた。

時間が予想より掛かっていたことに気づく、ペースを上げてひたすら続くナメを進む、この辺りで登頂→釜の沢下降→幕営の時間が無いことを確認、鶏冠尾根に出ることにした。

それでも尾根入り口に17時すぎに着き、出合まで戻ってテントを立てた、たき火の薪を拾い火を起こして炊さん、辛めキムチ鍋&ごはんが出来た、林、須田ともに、たき火は手練れだ。

翌朝、遅めの6時起床、朝食はうどんとスープ、生卵付きである、当然、沢にも持って行っている、ザックの重さはどうなっていたのか？ (記：佐藤俊)

CT：西沢溪谷駐車場 8:20 - 東沢出合い 9:30 - 右俣佐俣分岐 12:00
- 大滝 40m 14:00 - 戸渡尾根 15:00 - 徳ちゃん新道入口 17:20

